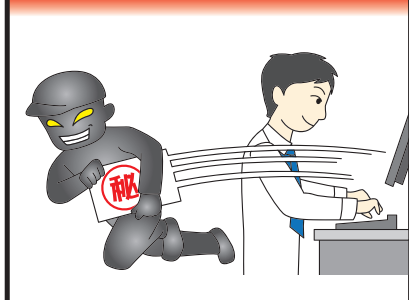


あなたの会社 情報セキュリティ対策は大丈夫??

ちょっとしたミスが重大事故に！お客様に迷惑をかけるばかりが信頼も失ってしまいます。

お客様情報が漏えいしてしまい
ニュースで組織名が露呈し信用失墜。



お客様にウイルス付のメールを
送ってしまい取引停止の危機に！



新製品に関するデータを紛失し
発売が大幅に遅れてしまった！



情報の取り扱いについて

机に放置したままの情報は、関係者以外の目に触れ、漏えい事故につながります。情報は放置せず、書庫に保管するなどの対策が必要です。



事務所について

ノートパソコンや携帯端末などは持ち運びができる利便性が高い反面、盗難の危険性も高くなります。退社時には鍵のついた引出しに保管するなど管理が必要です。



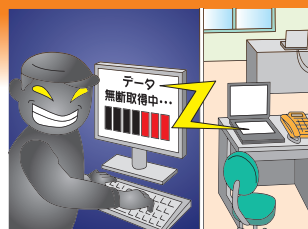
パスワードについて

パスワードを見破られると、本人に成りすまして不正利用されてしまいます。名前や誕生日のような簡単なパスワードではなく、複雑なパスワードを設定し、定期的に変更しましょう。



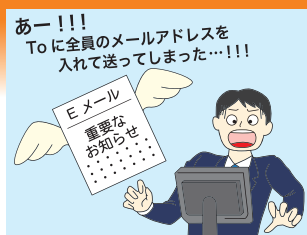
パソコンについて

脆弱性と呼ばれる安全上の欠陥を放置していると、それを悪用したウイルスに感染して情報が漏えいする危険性があります。お使いのソフトウェアを更新して最新版を利用しましょう。



電子メールについて

電子メールの送り先を間違えると全く知らない人に情報が漏れてしまいます。送信前に送り先を確認するなどして情報漏えいを予防しましょう。



従業員について

日々の仕事で常に情報を取り扱いますが、日常的であるがゆえ、管理の意識がおろそかになりがちです。従業員に情報管理の大切さについて繰り返し意識付けを行うことが有効です。



困ったときはまず相談

詐欺や架空請求の電子メールが届く、ウイルスにより開いているウェブページが閉じないなどの被害に遭遇したら、一人で悩まず各種相談窓口にご相談しましょう。

各種相談窓口

京都府警察（犯罪に関する相談・電話による情報提供）
京都府警察のサイバー犯罪相談窓口
電話番号：075-451-9111

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
IPA 情報セキュリティ安心相談窓口
電話番号：03-5978-7509（平日 10:00～12:00, 13:30～17:00）

※この資料は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の「改訂版5分でできる！情報セキュリティ自社診断」を参考に作成したものです。

IPA 自社診断 検索